

兵庫県水産技術センターだより

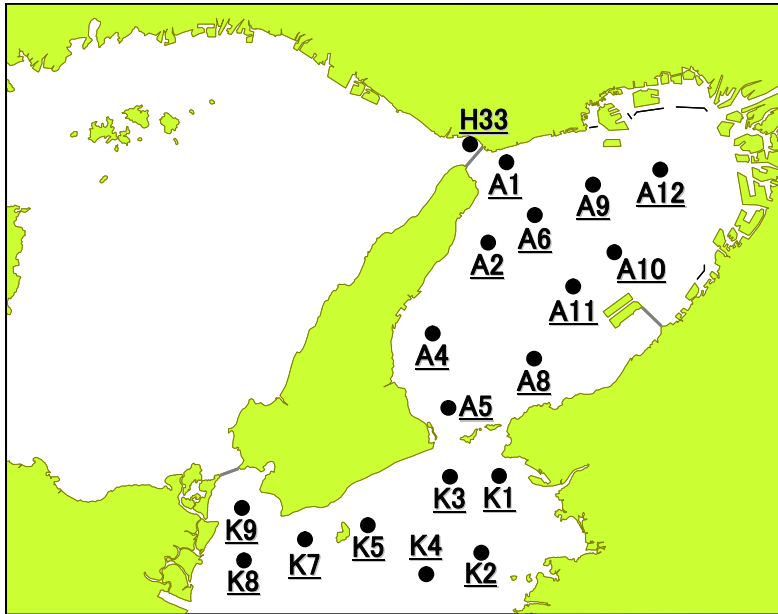
赤潮情報 AK-01-13 号(大阪湾・紀伊水道)

令和元年 8 月 20 日発行

8 月 19～20 日に赤潮プランクトン調査(大阪湾・紀伊水道：定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・大阪湾、紀伊水道で、魚類を斃死させる有害種のカレニア・ミキモトイが確認されました。大阪湾西部海域(図中 A2 近傍)では、本種の高密度化によりパッチ状の着色(赤潮)が見られています。

- ・着色域では活魚の運搬や漁船の航行に十分にご注意ください。また、高密度化した海域(港湾内等)では、赤潮消滅後の酸素欠乏にもご注意ください。



カレニア(ギムノディニウム) ミキモトイに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が黒褐色～茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。

注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティーカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティーカおよびマリーナ	シャットネラ・オクタ	シャットネラ・グローバサ	シャットネラ・ベルキュロサ	クロロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロシガマ・アカシ
A1	0	0	24	0	0	0	0	0	0
A2	0	0	68	0	0	0	0	0	0
A2 近傍(着色域)	0	0	2,275	0	0	0	0	0	0
A4	0	0	25	0	0	0	0	0	0
A5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A6	0	0	23	0	0	0	0	0	0
A8	0	0	9	0	0	0	0	0	0
A9	0	0	92	0	0	0	0	0	0
A10	0	0	4	0	0	0	0	0	0
A11	0	0	8	0	0	0	0	0	0
A12	0	0	352	0	0	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	10	0	0	0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H33	0	0	45	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・次回定期調査(播磨灘全域)は9月2～3日の予定です。調査結果がまとまり次第「赤潮情報第AK-01-14号」としてお知らせします。また、臨時調査を実施した場合にも「赤潮情報」として公表の予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>